

2023年度 体育・保健体育ネットワーク研究会 ファイナル in 福岡

次期学習指導要領の方向性を考える

1 目的

各県の体育科・保健体育科教育に関わる小中高の学校関係者、教育委員会関係者、大学関係者によって構成される有志が、学習指導要領への理解、体育学習や保健学習に関する授業力の向上、教育課程編成等体育科教育の充実に向けて、語り合う機会とし、九州から全国へ実践ベースの情報を発信する。また、全国体育・保健体育ネットワーク研究会の交流を促進する。

2 ファイナル・ラウンド テーマ

学習指導要領改訂により、知識・技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力・人間性等の学力の3つの柱を軸に、主体的、対話的で深い学びの実現に向けて授業の具体化が進められている。

また、Society.5.0 社会へのシフトに向けて、コンピテンシーの育成及び一人一台端末の導入によるICT活用も進みつつある。中央教育審議会での次期改訂に向けた論議が開始される中で、体育・保健体育の教育を提供する行政、学校等の視点及び学習する児童生徒の視点の双方から改訂による教育効果及び次期学習指導要領の進むべき方向性を検討する。

3 主催／共催／後援

〔主催〕九州体育・保健体育ネットワーク研究会、北海道・東北ネットワーク研究会

北信越ネットワーク研究会、中国・四国ネットワーク研究会、関東・東海・関西ネットワーク研究会

〔共催〕福岡県体育研究所、鹿屋体育大学、熊本大学、福岡教育大学

〔後援〕佐賀大学、宮崎大学、大分県教育委員会、沖縄県教育委員会、鹿児島県教育委員会、熊本県教育委員会、長崎県教育委員会、福岡県教育委員会、宮崎県教育委員会、佐賀県教育委員会

〔協力〕台湾師範大学、韓国中央大学

4 期日

令和6年3月9日(土) 10:00~17:00(受付:9:30~)

5 場所

福岡県立スポーツ科学情報センター(アクション福岡)

住所 〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-4 TEL 092-611-1717

6 方式

対面及びWebハイブリッド

7 内容

9:30 受付

10:00-11:30 **ポスターセッション**

研究成果、教材等の展示、発表

12:30 開会式

第1部 学習指導要領の趣旨を改めて考える コーディネーター 佐藤 豊(桐蔭横浜大学)

12:40-14:10 小学校におけるポイント

塩見 英樹(国立教育政策研究所教育課程調査官 併 文部科学省教科調査官)

中学校、高等学校におけるポイント

関 伸夫(国立教育政策研究所教育課程調査官 併 文部科学省教科調査官)

第2部 各県の体育・保健体育の授業研究 コーディネーター 高橋 修一(日本女子体育大学)

14:30-16:30 <学校体育研究大会の報告>

全国学校体育研究大会を終えて(山形県) 佐藤 若(山形県青年の家 所長)

九州学校体育研究大会を終えて(大分県) 石川信太郎(大分市立明治小学校)

<各県の実践報告>

・河本 岳哉(札幌市立南小学校)

・佐藤 光(札幌市立上野幌中学校)

・三本 雄樹(新潟市立小針小学校)

16:30- 事務連絡

16:40- 閉会式

8 参加費

2,500円（学生は、1,500円）

※ Web参加の方は、各自お振込みいただいた後、当日のZOOMのURLを送信いたします。

※ 別途、年会費（2,000円）については、2023年度会費未納入者のみ徴収します。

9 参加申し込み

下記アドレスを直接アドレスバーに打ち込み、HPへアクセスし送信ください。

なお、3月1日（金）までにお申し込みください。 <https://forms.gle/QKwnkEjEukRAKeLB7>

問い合わせは、事務局：椀（かこい） <chichicaco@nifs-k.ac.jp>
までお願いします。



10 その他

- ◆ 宿泊については、各自手配をお願いします。（非常に取りにくくなっています。お早目に！！）
- ◆ 会終了後、博多駅近くで情報交換会を実施する予定です（学生以外）。
参加をご希望される方は、上記申し込みフォームでご回答ください。

11 問合せ/連絡先

事務局：鹿屋体育大学 スポーツ人文・応用社会科学系

担当：椀 ちか子（0994-46-4971, chichicaco@nifs-k.ac.jp）

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地

TEL/FAX 0994-46-4971

12 会場案内



バス

JR博多駅 ハスターミナル14番乗り場から

37, 39, 39-Bのバス・・・約20分

（月隈団地経由）（アクション福岡前下車）

福岡空港 地下鉄4番出口 福岡空港前バス停から37, 38, 39のバス・・・約7分

車

JR博多駅から・・・・・・・・・・約20分

都市高速道路利用の場合

福岡方面から：月隈ランプ出口を降りて・・・・・・・・約6分

太宰府方面から：金の隈ランプ出口を降りて・・・・・・・・約9分

13. ポスター発表

1. 運動好きな子供を育てる体育科学習指導
～「2つの学び」を位置付けた学習過程を通して～
瀬木 惇仁（吉富町立吉富小学校）
2. 主体的に運動に取り組む生徒を育てる保健体育科学習指導
～チャレンジシートを活用した学習活動を通して～
三苫 弘光（糸島市立前原東中学校）
3. 運動の多様な楽しさや喜びを味わう生徒を育てる保健体育科学習指導
～知識を基盤としたロールセレクション学習を通して～
山室 勇二（福岡県立福岡農業高等学校）
4. 札幌市におけるオンライン体育授業研修システム実証の効果
～三年間の取り組みを通じて～
白川 敦（札幌市立藤野中学校）
5. 研究会における体育授業公開の経験と小学校教師の発達
—授業公開前後での授業づくりに対する意識変容に着目して—
梅村 拓末（北翔大学短期大学部）・斎藤 未来（札幌市立緑丘小学校）・
山本 祥太（札幌市立琴似小学校）・中島 寿宏（北海道教育大学札幌校）
6. 「遊び」を追求した低学年の授業実践
林 光雄（長崎県壱岐市立初山小学校）
7. 中学校の短距離走におけるシンキングツールを用いた思考力の育成に焦点を当てた
授業実践
＜中高体育科教育部会＞ 秋山 和輝（筑波大学附属中学校）・
川崎 修（筑波大学附属中学校）・川原 吉夫（江東区立第四砂町中学校）・
須甲 理生（日本女子体育大学）・松本 祐介（川村学園女子大学）・
荻原 朋子（順天堂大学）・村井 梨沙子（順天堂大学）・四方田 健二（名古屋学院大学）
8. 学校から出て学ぶ楽しさ ～対面研修の振り返り～
岩崎 敬（日田市立高瀬小学校体育専科教員）
9. 主役は誰だ？ ～こどもたちが輝く授業を目指して～
秋吉 辰哉（元岡山県、大分県保健体育教師）
10. Exseed プロジェクト ～子どものための運動プログラムの普及と開発～
中谷 深友紀（鹿屋体育大学）・有蘭 ゆい（鹿屋体育大学大学院）・
梶 ちか子（鹿屋体育大学）・高井 洋平（鹿屋体育大学）
11. 実技指導力に関わる運動観察力の育成を目指した教材開発
～ダンス実技授業についての事例的検討より～
梶 ちか子（鹿屋体育大学）
12. 「共生の視点」への「気づき」を促すことをねらいとするワーク学習が
保健体育科教員志望学生の授業づくりの意識に及ぼす影響
有蘭 ゆい（鹿屋体育大学大学院）・梶 ちか子（鹿屋体育大学）
13. 中学校保健体育教諭の授業づくりに対する意識
—体育に関する研究会への参加経験に着目して—
斎藤 辰徳（北海道教育大学教職大学院）・中島 寿宏（北海道教育大学札幌校）

14. 学年に応じた異なる内容を含む複式学級の教材開発
—極小規模校を想定したゴール型の実践—
志和 孝洋（岩手大学大学院教育学研究科）・清水 将（岩手大学教育学部）
15. 「単元計画の構造図」及び「評価のためのルーブリック」の作成
—中学校第1学年及び第2学年の陸上の単元を対象として—
森 栞奈（中京大学スポーツ科学部スポーツ教育学科4年）・
後藤 晃伸（中京大学スポーツ科学部）
16. 高等学校の科目保健における単元計画の構造図の作成
—ルーブリックを用いた具体的な教科規準の検討—
中溝 大地（中京大学スポーツ科学部スポーツ教育学科4年）・
後藤 晃伸（中京大学スポーツ科学部）
17. 指導と評価の一体化を踏まえた単元計画の作成
—指導機会から評価機会までの学習時間に着目して—
小島 鞠未（中京大学スポーツ科学部スポーツ教育学科4年）・
後藤 晃伸（中京大学スポーツ科学部）
18. 体育分野における男女共習授業のあり方
～保健体育科教諭を対象としたインタビュー調査～
池末 虎之助（久留米大学スポーツ医科学科・学生）・
野田 耕（久留米大学スポーツ医科学科）
19. 体育の授業における教師からの生徒の呼称と感情の関連性について
渋谷 俊磨（北翔大学学生）・藤原 時治（北翔大学学生）・古川 廉（北翔大学学生）・
森 靖明（北翔大学）
20. 部活動における役職経験とソーシャルスキルについて
松倉 優弥（北翔大学学生）・森 愛（北翔大学学生）・保坂 文奈（北翔大学学生）・
森 靖明（北翔大学）
21. 部活動地域移行に係る考察 ～現職教員と教職課程履修学生の意識の差から～
妹尾 愛斗（北翔大学学生）・徳山 遥（北翔大学学生）・森本 あやめ（北翔大学学生）・
森 靖明（北翔大学）
22. 保健体育科教員を志す学生の教育実習に関する意識の変容
藪 悠生（北翔大学学生）・山下 雅人（北翔大学学生）・山本 健斗（北翔大学学生）・
森 靖明（北翔大学）
23. 大学生における健康意識とSNS利用との関連
—YouTube、LINE、Instagram、X、TikTokに着目して—
會田 昂平（北翔大学学生）・有馬 汰杜（北翔大学学生）・木村 優翔（北翔大学学生）・
島森 琉空（北翔大学学生）・今 竜一（北翔大学）
24. 台上前転に対する恐怖心の質的研究 —8つの局面における要因の考察—
瓦本 椋也（北翔大学学生）・佐々木 空飛（北翔大学学生）・佐田 岳優（北翔大学学生）・
徳能 一喬（北翔大学学生）・今 竜一（北翔大学）
25. OODA ループによる授業改善
—PDCA サイクルとの融合—
伊藤 大輝（北翔大学学生）・金村 共晃（北翔大学学生）・今 竜一（北翔大学）

26. 特別支援教育の体育授業におけるICT活用の在り方
斎藤 那由太（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・佐藤豊（桐蔭横浜大学）
27. スポーツが人格形成に与える影響
岡村 悦志（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
28. 体育授業における「LGBT」に配慮した指導方法の一考察
佐生 朋也（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
29. 女子野球の発展 ～スポーツマーケティングの視点から～
伊藤 蘭正（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
30. 運動実施状況の二極化 一日常的に運動する人を増やすために一
山田 芽衣（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
31. 体育授業における個別最適な学びと協働的な学びを中心としたICT活用の検討
渡辺 拓都（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
32. 体育授業(球技)におけるアクティブラーニングの有用性
岩澤 大朗（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
33. 部活動が及ぼす礼儀作法の関係性
田中 諒（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
34. ICT活用による野球障害防止の検討（野球肘の防止に着目して）
荒川 駿介（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・佐藤 豊（桐蔭横浜大学）
35. 「わかる」「できる」をつなぐ体育授業の構想
～中村敏雄の学校体育論の視点をういて～
松本 琉希（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・井口 成明（桐蔭横浜大学）
36. 大学ゼミナールにおける学習および研究の相乗効果について
高木 皓太（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・井口 成明（桐蔭横浜大学）
37. 社会人のストレスレスを目的とした野外体験活動の効果について
増井 利矩（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・井口 成明（桐蔭横浜大学）
38. 非組織的で自由度の高い自然体験活動における子どもの自己肯定感について
永峰 稜（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・井口 成明（桐蔭横浜大学）
39. 中高一貫校における異学年交流から生まれる中学生が感じる自己有用感について
横山 颯（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・井口 成明（桐蔭横浜大学）
40. 大学生のコミュニケーションスキル向上～ゲームを用いた一考察～
荻野 琉生（桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部）・井口 成明（桐蔭横浜大学）
41. 生徒主体の部活動のための教員の適切な支援等の検討
吉永 滉太（鹿屋体育大学学生）・浜田 幸史（鹿屋体育大学）
42. バスケットボール授業における準備運動についての検討
樺 竜輝（鹿屋体育大学学生）・浜田 幸史（鹿屋体育大学）

43. SNS 活動が大学受験に及ぼす影響
～女子バスケットボール部の SNS 等を活用した活動充実に向けて～
恒松 美玲（鹿屋体育大学）学生・梶 ちか子（鹿屋体育大学）
44. 朝課外の必要性について ～睡眠、生活習慣の観点から～
下大迫 勇（鹿屋体育大学学生）・梶 ちか子（鹿屋体育大学）
45. 一人暮らしの体育系大学生の食事に関する知識・意識の実態と食生活改善に関する提案
藤井 柊太郎（鹿屋体育大学学生）・梶 ちか子（鹿屋体育大学）
46. 対人関係における第一印象に表情と情報が与える影響
平石 祐己（鹿屋体育大学学生）・梶 ちか子（鹿屋体育大学）
47. コーディネーショントレーニングを用いた中学・高等学校体育授業における
準備プログラムの開発
粕谷 凜太郎（鹿屋体育大学学生）・梶 ちか子（鹿屋体育大学）
48. 一人暮らしの体育大学生の食事の意識と行動の実態
～食に関する指導との関係について～
溝井 恵花（鹿屋体育大学学生）・梶 ちか子（鹿屋体育大学）
49. 稽古外でのトレーニングの実践と競技成績との関係性
～競技力向上を目指した階級別でのトレーニング指導教材の作成に向けて～
前田 竜輔（鹿屋体育大学学生）・梶 ちか子（鹿屋体育大学）
50. 競技スポーツにおける「あがり」の対処法に関する研究
一より良いパフォーマンス発揮を引き出す指導法目指して一
城鼻 新太（鹿屋体育大学学生）・梶 ちか子（鹿屋体育大学）
51. 体育授業における、運動への積極的参加を促す指導法
一高等学校の体育授業における知識的指導について一
大西 幸基（鹿屋体育大学学生）・梶 ちか子（鹿屋体育大学）
52. 幼児の疾走動作のフォーム改善のための指導法の開発
神田 伝央（鹿屋体育大学学生）・梶 ちか子（鹿屋体育大学）

【ブース展示】

- ・JADA スポーツの価値教育コーナー
- ・体づくり運動アプリ 体験コーナー
- ・体育資料集「ワンダフルスポーツ」（新学社）